

令和4年6月16日

学校法人山陽女学園
広島歯科技術専門学校
校長 新谷 英章 殿

学校関係者評価委員会
委員長 藤岡 道治

学校関係者評価委員会報告書

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

藤岡 道治 (医) 社団つくも会 藤岡歯科医院 会長 (委員長)
森本 進 (一社) 広島県歯科医師会 副会長
濱本 満弘 (一社) 広島県歯科技工士会 副会長
在木 真之介 和田精密歯研株式会社 広島事業所所長
黒川 文士 広島歯科技術専門学校 同窓会会長
山本 康浩 在校生保護者 代表

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和3年 6月17日 (会場 山陽看護専門学校 図書室)
第2回委員会 令和3年11月18日 (会場 専門学校棟 2階教室)
第3回委員会 令和4年 3月24日 (会場 専門学校棟 2階教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 令和3年度 自己評価の各評価項目について

基準1 教育理念・目的・人材育成像

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・教育理念・目的・人材育成像は、学則及び学生便覧に明記されている。学校案内、ホームページ等でも広く周知されているので、今後も社会のニーズに合わせて行って欲しい。また、ホームページの学則等を探す時に、表示が分かりづらいので改善して欲しい。

基準2 学校運営

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・学校法人山陽女学園の理事会、評議員会で、学校運営の意思決定システムが整備されているのが良い。
- ・ホームページにより一般の方に情報発信されているので継続していただきたい。
- ・Wi-Fi の導入など情報システム化の改善がみられるなど、業務の効率化がみられるので、今後も継続して欲しい。

基準3 教育活動

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・卒業生の就業先の評価アンケート調査を実施するなど、業界が求める教育、人材像を把握し、教育編成に生かされているので良い。
- ・本年度も専任教員の研修については、新型コロナが収束すれば、積極的に参加し、スキルアップして欲しい。

基準4 学修成果

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・中退率が気になる。学業不振による学習意欲の低下を理由とする者が多いと聞くが、今一度、実習内容等の見直しを検討されたらどうか。
また、心に病を持った学生も多いと聞くが、継続的に細心の注意を払っていただきたい。
- ・国家試験対策として、模擬試験、個別指導と日頃から取り組んでおられるので、今後も継続して、高い合格率を維持して欲しい。

基準5 学生支援

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・キャリア教育の充実を図る授業として、企業と連携した授業が行われているので、即戦力として社会に送り出せる。今後、一層力を入れて取り組んでいただきたい。
- ・心に病を持った学生に対しては、カウンセラーに相談するなど、専門家の意見を参考にされているようですので、保護者とも連携を取りながら細心の注意を払って対応して欲しい。

基準6 教育環境

【評価結果：ほぼ適切に整備されている。】

- ・企業連携授業、インターンシップ等で臨床に触れる機会を与えたことは良かったと思う。引き続き実施して欲しい。
- ・次年度に CAD/CAM 等の整備予算を確保されたと聞く、業界のニーズに合った教育を期待している。

基準7 学生の募集と受入れ

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・少子化が進む中、学生募集も難しいと思うが、各方面への広報活動を続けていただきたい。
- ・高校訪問は歯科技工士を知ってもらう良い機会だと思うので、新型コロナウイルスが収束すれば、継続して欲しい。
- ・少子化なので、社会人の受け入れ体制を整備されたいかがか。

基準8 財 務

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・少子化が続いていることもあり、過去5年以上入学生の充足率が60%を前後していると聞く、この評価結果から随分努力されているものと思われる。学生が増加することが、財務のより健全化につながるので、学生募集に努力して欲しい。

基準9 法令等の遵守

【評価結果：適切に実施している。】

- ・先生によるパワハラ等で大量の退学者が出た学校もある。貴校では日頃から気を付けられていると思うが、そのようなことが起きないように注意して欲しい。また、個人情報の漏洩にも十分に気を付けて欲しい。

基準10 社会貢献・地域貢献

【評価結果：やや不適切である。】

- ・新型コロナの影響で、色々な行事が中止となったこともあるが、多方面との繋がりを作るにより、歯科技工士をアピールできると思うので、協力や貢献できれば良いと思う。

II 令和3年度 重点的に取り組む目標や計画について

1 重点目標①「教育カリキュラム」について

1. 企業と連携した職業教育

- * 広島大学病院の見学実習等を計画しながらも新型コロナウイルスの影響で中止となったとの報告があったが、再開出来るようになれば継続して欲しい。
- * 今年度、企業（歯科技工所3社）と連携授業を実施されたことは、目標を達成されており、継続して欲しい。

2. 国家試験対策

- * 全国模擬試験（学説）や学内模擬等を受験されている。また、成績不振者には個別指導をされているが、継続して国家試験合格率100%を維持して欲しい。

2 重点目標② 「入学生の確保」について

1. 広報活動

- * 多方面および多種に渡っての広報活動を、今後も継続して入学生の確保に努めて欲しい。

2. 高校訪問

- * 高校訪問の必要性は理解できる。今年度は新型コロナウイルスの影響で、1回しか訪問できなかった。再開の折には先生や生徒に十分アピールして学生確保に繋がる事を望みます。

3. 歯科関係団体との連携

- * 歯科関係団体との連携は密に進めて協力を仰ぐことは大事だと思います。

4. 社会人（既卒者）の受け入れ

- * （一般）教育訓練給付金制度から、専門実践教育訓練の講座指定を受けるよう要望します。

3 重点目標③「中途退学者の減少」について

1. 学習意欲（モチベーション）の向上

- * 関心が持てる実習の工夫を検討してはどうか。

2. 学業不振者への対応

- * 放課後等の指導を引き続き行い、脱落者の防止に努めて欲しい。

3. 心に病を抱えた学生への対応

- * 保護者（保証人）との連携と専門のカウンセラーに相談するなど、引き続き実施して欲しい。